

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第13号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年1月17日 13時25分ごろ	
発生場所	福岡県福岡市小呂島東方沖 小呂島港西2号防波堤灯台から真方位101°4.8海里（M）付近 （概位 北緯33°50.5′ 東経130°7.4′）	
事故等調査の経過	平成22年1月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 貨物船 第八幸^{こうしん}伸丸、499トン 136549、宮崎礦業株式会社</p> <p>B 漁船 201^{ちようせい}長生丸、19トン TT2-1902（漁船登録番号）、長生漁業株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 甲板員、六級海技士（航海）</p> <p>B 船長、一級小型船舶操縦士、特殊小型船舶操縦士・特定</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 左舷船首部外板擦過傷</p> <p>B 船首部ハンドレール等曲損</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長ほか3人が乗り組み、甲板員Aが単独で当直につき、約10ノット（kn）の速力で、自動操舵により南西進中、B船は、船長ほか1人が乗り組み、約10knの速力で、自動操舵により北西進中、平成22年1月17日13時25分ごろ、小呂島東方沖において、A船左舷船首部とB船船首部が衝突した。</p> <p>その後、A船及びB船は、博多港に入港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2、視程 約2M以上</p> <p>海象：うねり なし、波浪 穏やか</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、小呂島東方沖を南西進中、当直中の甲板員Aが、左舷船首方にB船を認めたが、A船を間近で避ける漁船が多かったことから、B船もA船を間近で避けるものと思い込み、その後、考え事をして適切な見張りを行わなかった可能性があると考えられる。</p> <p>B船は、北西進中、船長Bが、前方に他船を認めなかった安心感から気が緩み、操舵室左舷側で船橋当直中、日頃の疲れから居眠りに陥った可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、小呂島東方沖において、A船が南西進中、B船が北西進中、	

	甲板員 A が適切な見張りを行わず、また、船長 B が居眠りに陥ったため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。
--	--